

はじめに



「食」は、私たちが生きていく上で欠くことのできない、まさに命の源です。

富山県は、3000m級の立山連峰から深さ1000m以上の富山湾に至るまで、全国に誇るべき貴重な自然に恵まれています。

こうした豊かな自然環境の中で、先人達の長年の知恵と努力によって、現在では、美味しいとやま米、新鮮な野菜、きとぎとの魚介類など豊かな恵みを楽しむようになり、家庭や地域では、創意・工夫に満ちた食文化が育まれています。

また、全国有数の三世代同居率を誇る富山県では、食卓を囲んでの家族の団欒が、人々の心身を豊かにしています。

しかしながら、近年、食生活の乱れや生活習慣病の増加、食に対する感謝の念や伝統的な食文化の喪失など、様々な課題が指摘されるようになり、こうしたなか、平成17年6月に、食育を国民運動として推進する「食育基本法」が制定されました。

富山県では、この法律の制定を受け、県民運動として食育を推進するため、全国に先駆けて、条例に基づく「富山県食育推進会議」を設置し、食育に関わる様々な関係機関の代表者、有識者の参加を得て、食育に係る各種推進施策や取組みについて審議を重ねてきました。

また、平成18年3月には、子どもを含むあらゆる世代を対象に「食育に関するアンケート調査」を実施し、同年6月から7月にはパブリック・コメントを募集するなど、県民の皆様方の貴重なご意見をいただきながら、このたび、「富山県食育推進計画」を取りまとめました。

この食育推進計画では、①富山の「食」に着目した「富山型食生活」の確立、②家族そろった楽しい食事で健全な食生活の実現、③家庭を中心とした食育を地域社会でもしっかりと支援する、という3つのポイントから、食育の推進目標、具体的な施策などを示しています。

この食育推進計画に基づき、県民の皆様一人ひとりが、家庭や学校、地域などにおいて食育に努められ、これを地域社会全体で支えることを通じ、県民の皆様の心身の健康と活力に満ちた地域社会が実現することを願ってやみません。

終わりに、この計画の作成にご尽力いただきました富山県食育推進会議の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見・ご提言をいただきました県民の皆様々に心から感謝申し上げます。

平成18年8月

富山県食育推進会議会長
富山県知事 石井 隆一